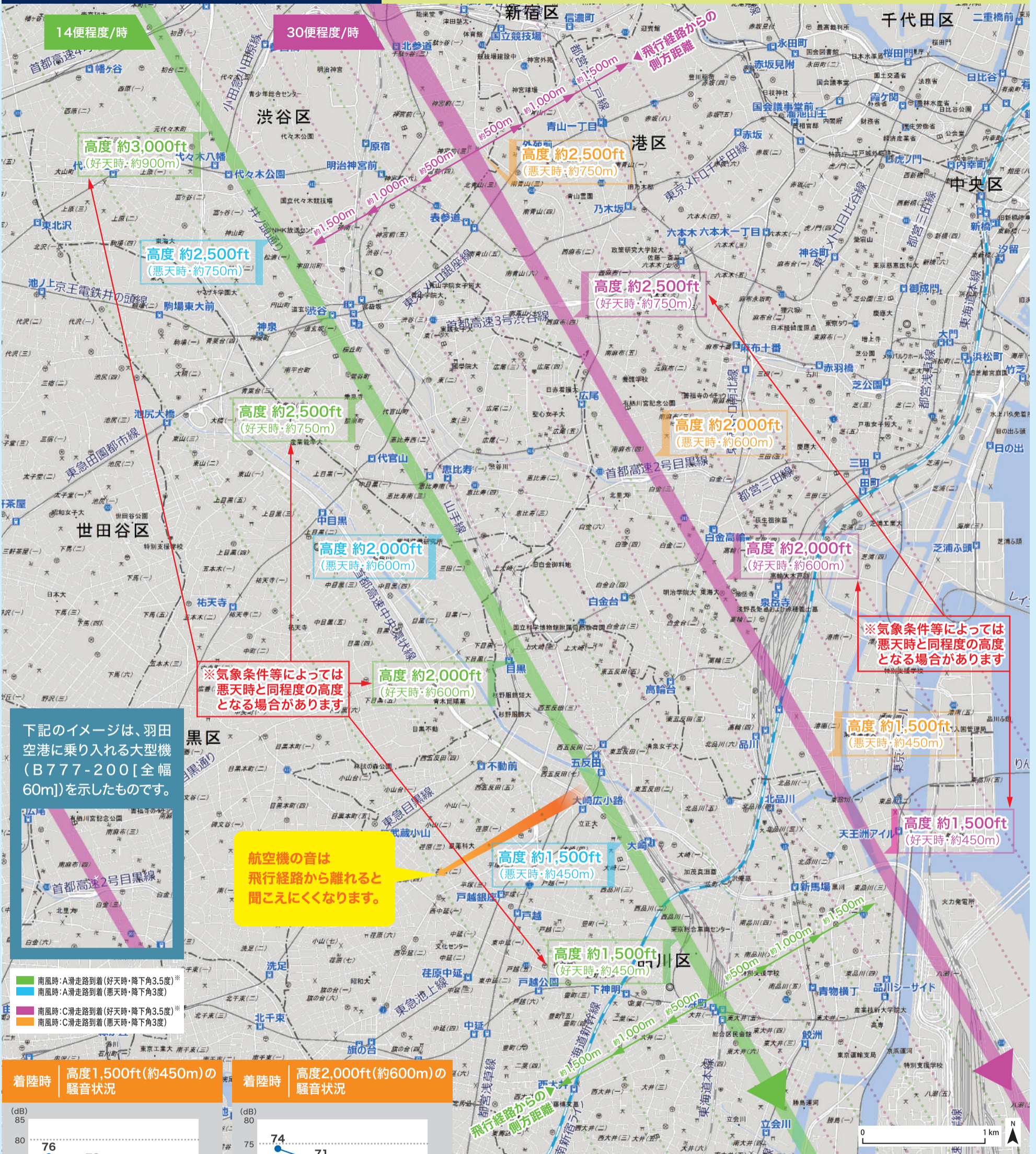


港区上空における南風時の新飛行経路

南風時の運用は、年間の約4割と推定(港区上空では着陸機のみ)
 運用時間: 15時~19時(切替時間を含むため、実質3時間程度の運用)

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用
 ※現行経路(南風運用)では、全ての着陸便が千葉県上空を通過しています
 ※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです
 ※地図上に記載した各地点の高度(海拔)は好天時(降下角3.5度)、悪天時(降下角3度)での計算上の数値を示したものです



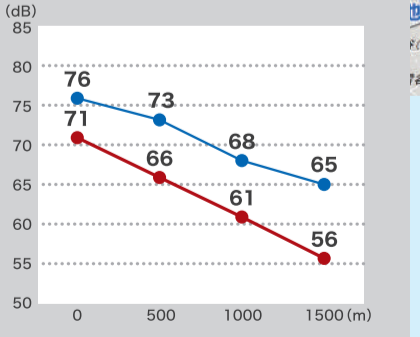
下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機(B777-200[全幅60m])を示したものです。

※気象条件等によっては悪天時と同程度の高度となる場合があります

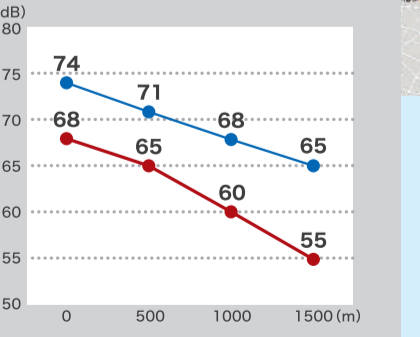
※気象条件等によっては悪天時と同程度の高度となる場合があります

航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。

着陸時 高度1,500ft(約450m)の騒音状況



着陸時 高度2,000ft(約600m)の騒音状況



騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル(L Amax [dB(デシベル)])

電車のガード下	100dB
大声、騒々しい工場、パチンコ店	90dB
幹線道路、掃除機、騒々しい街頭	70~80dB
街路沿いの住宅街	65~75dB
通常の話し声	50~70dB
静かな事務所内	50dB
静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街	30~40dB
耳で聞える限界	0dB

飛行機の音 ※2
60~80dB

現状(航空機が飛んでいない時)の騒音レベル

- 住宅街(目黒区三田付近)
平均値: 約49dB
瞬間最大値: 約79dB
 - 駅前(品川駅前)
平均値: 約65dB
瞬間最大値: 約86dB
 - 幹線道路(桜田通り沿い)
平均値: 約61dB
瞬間最大値: 約77dB
- ※10分程度の簡易測定による参考値

- 上表は飛行経路直下を0mとし、そこからの側方距離と騒音の関係を示したグラフです。騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、地上観測点での騒音値*を推計した値です。
※航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
- 実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
- 2つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76~77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位(音圧)。騒音レベル(L A [dB])での瞬間最大レベルを示したものです。
 ※2 飛行機の音は、概ね着陸時で1,000ft(約305m)、離陸時で2,000ft(約610m)以上の高度で航行する場合のピーク騒音。
 (一財)空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成